

鹿児島市健康づくり推進市民会議趣意書

世界有数の長寿国になったわが国は、いま少子高齢化が急速に進んでいます。

本市においては、平成 22 年には 5 人に 1 人が高齢者という超高齢社会の到来が予測されています。

健康は、健やかで心豊かな生活をおくるための最も重要な手段であります。

市民みんなが生きがいをもって、安心して暮らしていくためには、健康寿命を延ばすとともに、生活の質を高めていくことが極めて重要になってきています。

最近の生活習慣に目を向けると、飽食や運動不足、過度のストレスにより、肥満や高血圧、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病が増加しており、本市における死亡原因も生活習慣病によるものが約 60% を占めています。

これからの健康づくりは、個人の主体的な健康づくりへの取り組みが基本になりますが、市民が安全で効果的な健康づくりを継続的に実践し、健康的な生活をおくるためには、環境の整備を図っていく必要があります。

そのため、居住環境や労働環境、自然環境などの生活環境の改善、健康診断などの健康管理体制の整備、休養や運動の機会の確保、健康づくり指導者の養成や情報の提供などが重要な課題となります。

このような考え方にに基づき、市民、地域、団体、企業、学校、行政等、社会全体がそれぞれの役割分担を明確にし、相互の連携を強化しながら、「かごしま市民健康 55 プラン」に基づく健康づくり運動を全市的に推進していくため、ここに、「鹿児島市健康づくり推進市民会議」の設置を提唱します。

人とまちに元気がみなぎる鹿児島市を共に創造していくため、皆様方のご理解とこの会議へのご参加をお願い申し上げます。

平成 14 年 5 月 25 日